

集落活動センターの推進の方向性について

○ 集落活動センターの取り組みの状況

平成 24 年から取り組みを始めた集落活動センターは、現在、32 市町村、59 箇所で開催され、また、約 20 の地域で開催に向けた準備が進められている。

集落活動センターは、地域にすっきり浸透し、地域の暮らしや経済活動を支える拠点として、中山間対策を進めていく上で重要な役割を担っている。

○ 本年度における集落活動センターの取り組みの方向性

集落活動センターの取り組みは、センターをそれぞれの地域に拡げていく「量的拡大」と活動の継続・充実を図っていく「質的向上」の 2 つの柱により進めていく。

「第 2 期高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、開設数を 80 箇所に掲げており、市町村と連携を図りながら、県内各地に着実に広がっていくように、立ち上げに向けて地域の取り組み段階に応じて、引き続き、しっかりと支援していく。

センターの取り組みが始まってから 8 年が経過し、人口減少や高齢化に伴う担い手の確保や特産品の開発・販売などの経済的な活動に必要な知識の習得など、活動を継続していく上で、様々な課題が生じてきている。

そのため、本年度は、特に、これまでに開設されたセンターの取り組みの持続的な発展に向けて、中山間総合対策本部において、各部局と地域本部が課題を共有し、連携が必要な取り組みについて具体的な支援策を協議・検討していく。

また、新型コロナウイルス感染症に関して、緊急事態宣言は解除されたものの、活動の自粛により、住民の集う機会が大きく損なわれており、地域活動の停滞や中止が懸念される。

集落活動センターの活動再開に当たって、「新しい生活様式」を実践するための業種別ガイドラインが示されたが、地域からは「具体的な対策の見極めが困難」、「感染者の発生が不安」といった声を聞いている。

県としては、市町村とも連携しながら、センターに専門のアドバイザーを派遣し、新しい生活様式のもとで、安心して活動を再開できるよう支援を行っていく。

新型コロナウイルス感染症による集落活動センターへの影響について

1 現状

- 集落活動センターの活動は3月から中止・延期となっていたが、段階的に一部のセンターで事業が再開されている。
一方で、感染防止対策の見極めが難しいことから、事業再開の時期が未定のセンターもある。
- 「3密回避」による会議等の中止により、住民の集いの機能が停滞している。
- 経済的な活動の中止に伴う販売額や利用料等の収入の減少により、やむなく全体経費を削減するなど、センターの運営や部会活動に影響が出ているところもある。

2 課題

- 一部で活動を再開した取り組みもあるが、施設や活動内容に応じた感染防止対策の見極めが難しい。
イベントの開催についても段階的に制限が緩和されてきているが、万一感染者が発生したことを考えると不安感が払拭できず、「イベントを開催する」判断が困難。
- 店舗、カフェやレストランにおいても、「ソーシャルディスタンスをとる」、「会話を控える」等の対応は、具体的な知識やノウハウもなく、また、利用者離れを招くおそれもある。
- 活動の中止・延期が続くことで、住民が活動に参加する機会が失われ、活動への参画意識やモチベーションの低下が懸念される。

3 対応

- 集落活動センターが安心して活動を実施することができるよう、感染症対策のアドバイザーによるセンターの活動に適した感染予防対策の指導・対策について、市町村と連携しながら支援していく。
- コロナ収束後には、センターが行う宿泊施設や体験プログラムなどについて、観光振興部などと連携し、Go To キャンペーン等による支援をしていく。

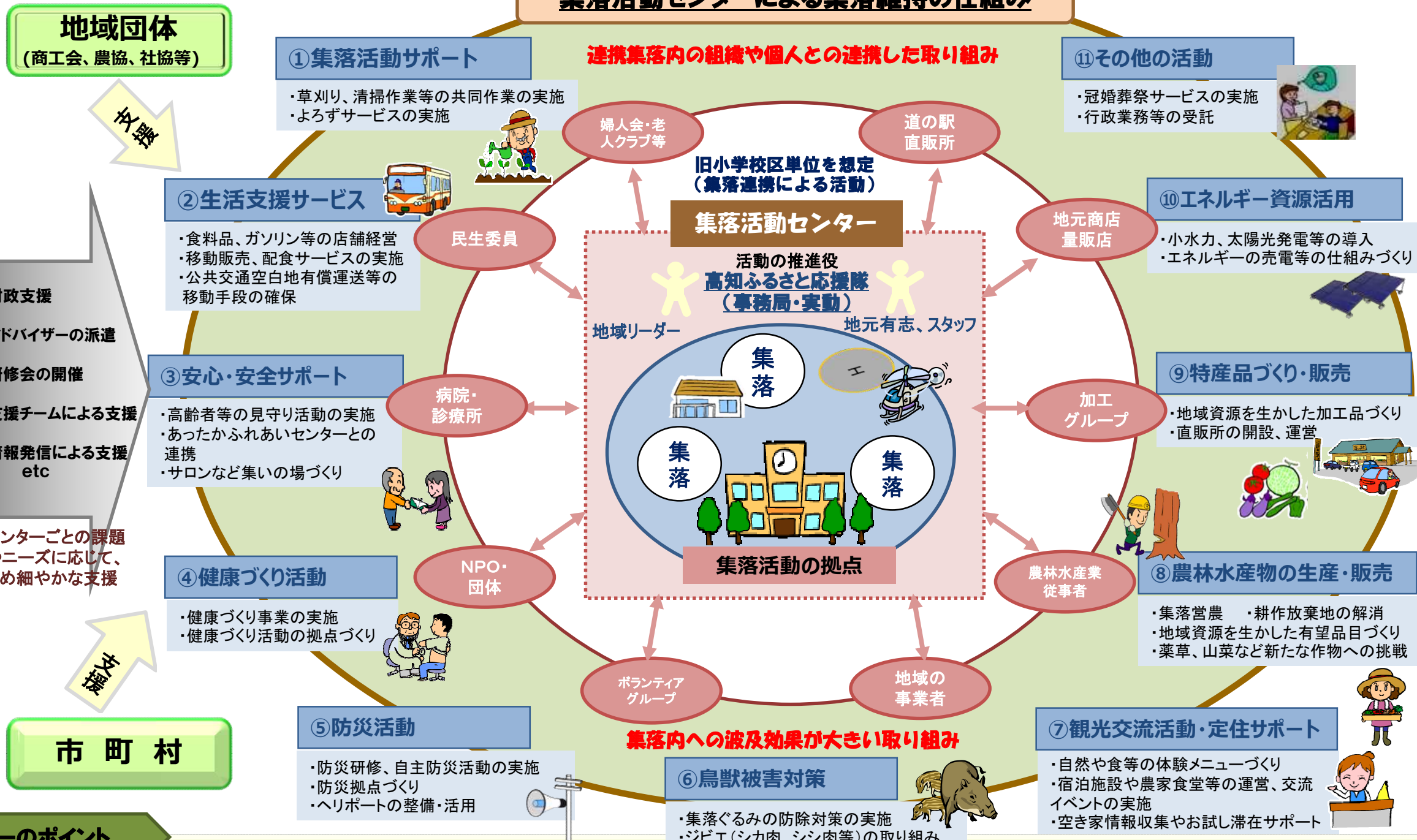
集落活動センターの取り組み概要

集落活動センターとは

地域住民が主体となって、旧小学校や集会所等を拠点に、地域外の人材等を活用しながら、近隣の集落との連携を図り、生活、福祉、産業、防災などの活動について、それぞれの地域の課題やニーズに応じて総合的に地域ぐるみで取り組む仕組み

皆さまのその一歩が
集落の未来をかえる！！

集落活動センターによる集落維持の仕組み



集落活動センターのポイント

① 主役は、地域住民の皆さま

主役である住民の皆様と市町村の一体となった取り組みを支援

② 活動は地域のオーダーメイド

住民の皆さまの話し合いから生まれたアイデアや提案を取り組みに繋げる仕組み

③ 皆さまの集まりやすい場所が活動の中心

集会所や廃校となった施設など、住民の皆さまが自然と集い、語り合える場所が拠点

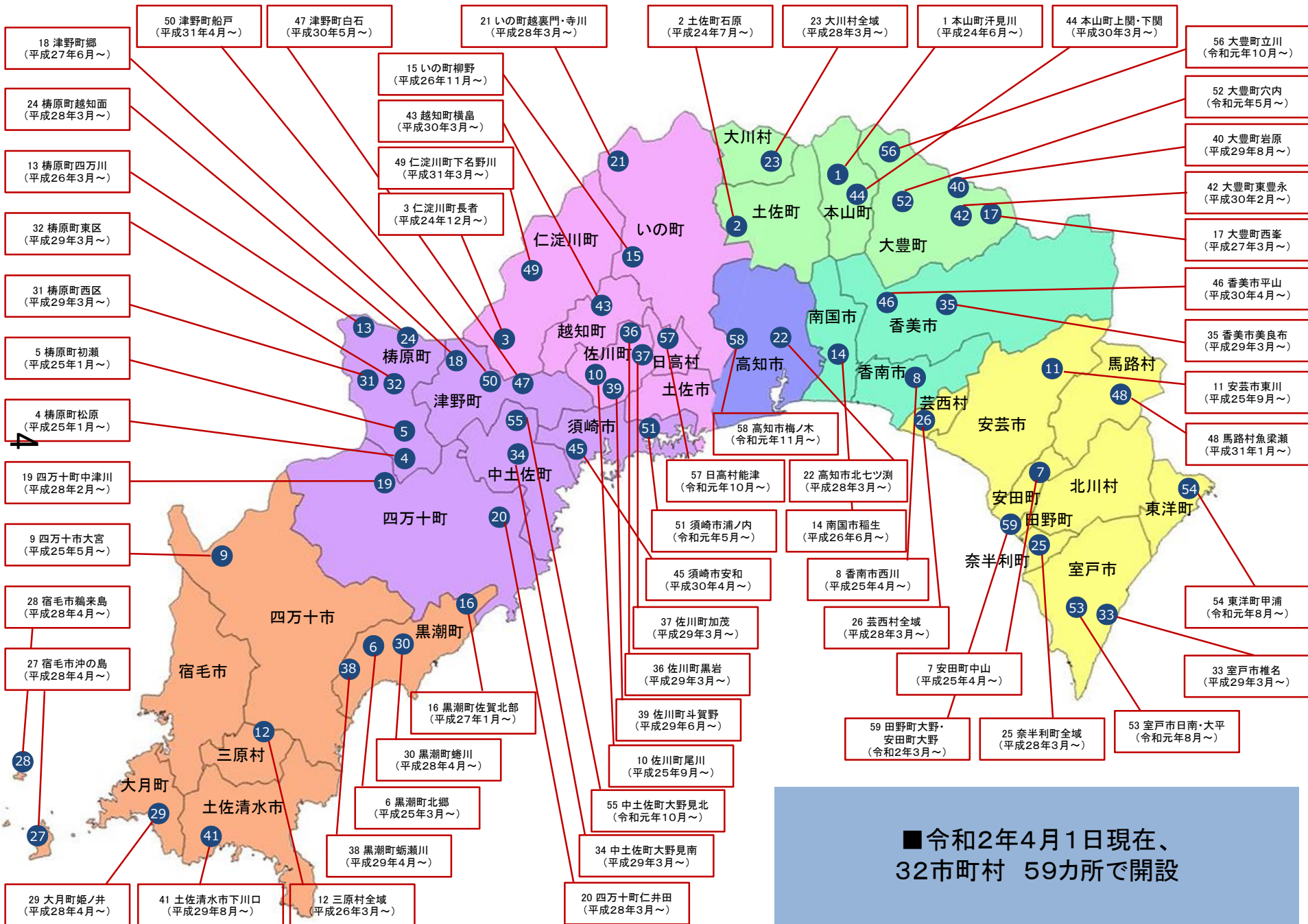
④ 様々な人材を活用

住民の皆さまと一緒に取り組むウターン、移住者など地域外の人材の導入

⑤ 集落の連携による取り組み

近隣の集落が互いに連携し、助け合うことにより、今までできなかったことが可能になる取り組み

集落活動センターの開設状況



集落活動センター開所地区の状況(令和2年4月1日現在)

NO.	市町村名	地区名	構成集落(集落数)	人口	世帯数	高齢化率	開所時期	名称(拠点施設)	実施主体
1	本山町	汗見川	立野、坂本、屋所、沢ケ内、瓜生野、七戸(6)	177	95	55.9	H24.6.17	集落活動センター「汗見川」 (汗見川ふれあいの郷 清流館)	汗見川活性化推進委員会
2	土佐町	石原	有間、峯石原、西石原、東石原(4)	323	160	47.3	H24.7.1	集落活動センターいしはらの里 (石原ふれあいの郷センター他)	いしはらの里協議会
3	仁淀川町	長者	木半夏、宮首、中ノ瀬上、中ノ瀬下、古田、石井野、打置、西古城山、東古城山、寺野、竹谷宮ヶ坪、日鏡宮ヶ坪、五味谷(14)	552	258	43.3	H24.12.1	集落活動センターだんだんの里 (だんだんの里)	だんだんくらぶ
4	橋原町	松原	大向、中平、上久保谷、下久保谷、松原、島中(6)	263	151	64.3	H25.1.12	集落活動センター「まつばら」 (松原ふれあいの郷センター他)	集落活動センター「まつばら」推進委員会
5	橋原町	初瀬	上折渡、下折渡、影野地、大野地、佐渡、初瀬本村、仲久保(7)	127	70	59.1	H25.1.12	集落活動センター「はつせ」 (鷹取の家他)	集落活動センター「はつせ」推進委員会
6	黒潮町	北郷	大屋敷、本谷、大井川(3)	121	66	58.6	H25.3.5	集落活動センター北郷 (旧北郷小学校)	北郷地区協議会
7	安田町	中山	間下、内京坊、正弘、別所、中ノ川、西ノ川、与床、小川、中里、船倉、瀬切、日々入(12)	499	256	55.7	H25.4.1	集落活動センターなかやま (旧中山小学校他)	中山を元気にする会
8	香南市	西川	口西川、中西川(2)	374	171	50.0	H25.4.12	西川地区集落活動センター (西川公民館)	西川地区集落活動センター推進協議会
9	四万十市	大宮	大宮上、大宮中、大宮下(3)	240	125	54.6	H25.5.26	大宮集落活動センターみやの里 (榊大宮産業)	大宮地域振興協議会
10	佐川町	尾川	高平、下郷、西山耕、中村、山田、堂野々、松ノ木、古畑、峰(9)	762	395	50.8	H25.9.19	尾川地区集落活動センターたいこ岩 (ふれあいの里尾川)	尾川地区活性化協議会
11	安芸市	東川	入河内、黒潮、大井、古井、別役(5)	130	94	76.6	H25.9.29	東川集落活動センター「かまん東川」 (東川公民館)	東川地域おこし協議会
12	三原村	全域	下切、亀ノ川、広野、袖ノ木、宮ノ川、来栖野、皆尾、芳井、下長谷、上下長谷、上長谷、狼内成山(13)	1,510	758	46.0	H26.3.28	三原村集落活動センターやまびこ (三原村農業構造改善センター)	一般社団法人三原村集落活動センターやまびこ
13	橋原町	四万川	東向、富永、下組、東川、中の川、本も谷、茶や谷、井高、坪野田、文丸、神の山、坂本川、六丁(13)	502	256	54.2	H26.3.29	集落活動センター「四万川」 (四万川交流センター)	集落活動センター「四万川」推進委員会
14	南国市	稲生	立石、千田ノ木、間田、土居ノ谷、中谷、林谷、西谷、小久保、芦ヶ谷、北地、衣笠、丸山、井川、千屋崎(14)	1,610	746	40.5	H26.6.15	集落活動センター「チーム稲生」 (稲生ふれあいの館)	集落活動センター「チーム稲生」
15	いの町	柳野	川原田、柳野本村、柳野上(3)	177	92	54.2	H26.11.23	集落活動センター柳野 (ふれあいの里柳野)	明るい柳野を創る会
16	黒潮町	佐賀北部	鈴、市野瀬、佐賀橋川、拳ノ川、拳ノ川団地、荷福、川奥、小黒川、中ノ川(9)	603	288	49.4	H27.1.25	集落活動センター佐賀北部 (旧拳ノ川保育園他)	佐賀北部活性化推進協議会
17	大豊町	西峯	野々屋、土居、久生野、大畑井、沖、薩、柚木(7)	187	130	75.9	H27.3.22	集落活動センター「西峯」 (大豊町複合集会所「ひだまり」)	西峯地区活性化推進委員会
18	津野町	郷	旧宮、谷の内、郷内、王在家、枝ヶ谷、口目ヶ市、日曾の川、古味口(8)	332	158	49.1	H27.6.14	郷地区集落活動センター「奥四万十の郷」 (旧郷小学校(体育館))	郷地区活性化委員会
19	四万十町	中津川	中津川(1)	63	39	63.5	H28.2.14	中津川集落活動センター「こだま」 (中津川集落活動センター「こだま」)	大正中津川地区
20	四万十町	仁井田	床鍋、影野上、影野下、奥呉地、魚ノ川、下呉地、下呉地西、替坂本、山株、六反地町、六反地郷、神有上、神有下、辻ノ川、仁井田、浜ノ川、本田、小向、平車、富岡(20)	1,572	801	43.6	H28.3.12	集落活動センター「仁井田のりん家」 (旧影野保育所)	仁井田みらい会議
21	いの町	越裏門・寺川	越裏門、寺川(2)	69	40	82.6	H28.3.13	越裏門・寺川地区集落活動センター 「氷室の里」(旧越裏門幼稚園)	越裏門・寺川地区村おこし協議会
22	高知市	北七ツ淵	七ツ淵北(1)	15	6	46.7	H28.3.13	北七ツ淵集落活動センター「たけのこの里」 (七ツ淵北公民館)	北七ツ淵集落活動センター運営協議会
23	大川村	全域	船戸、小松、朝谷、大北川、高野、川崎、井野川、大平、小麦畝、小北川、大藪、下切、南野山、上小南川、下小南川、中切(16)	399	230	44.6	H28.3.16	大川村集落活動センター結いの里 (旧大川村つぼみ保育園)	大川村集落活動センター運営協議会
24	橋原町	越知面	横員、太田戸、下本村、上本村、井の谷、永野、田野々、上後別当(8)	541	274	46.0	H28.3.20	集落活動センター「おちめん」 (越知面遊友館)	集落活動センターおちめん推進委員会
25	奈半利町	全域	車瀬、中里、百石、樋ノ口、上長田、下長田、平松、東町、横町、立町、弓場、一区、二区、三区、四区、五区、六区、七区、八区、生木、宮ノ岡、法恩寺、六本松甲、六本松乙、平、花田、池里、米ヶ岡、宇川、須川、久礼岩、大原、西ノ平、加領郷、愛光園、港町(36)	3,187	1,714	43.3	H28.3.26	集落活動センターなはりの郷 (旧弘瀬家住宅他)	一般社団法人なはりの郷
26	芸西村	全域	西分浜西、西分浜中①、西分浜中②、第二、第一、長谷、松原、郷西①、郷西②、郷西③、郷中、郷東、堀切、和食浜西、和食浜中、浜東、浜浦、叶木、正路、下組、下中、中村、西組、北組、城本、津野、笹ヶ森、極楽、西、中、井上、土居、芝岡、西地、東地、道家、園光、久重、洋寿荘、懸ヶ丘、中の城(40)	3,761	1,740	37.4	H28.3.26	集落活動センターげいせい (芸西村地域交流センター)	芸西村集落活動センター推進協議会
27	宿毛市	沖の島	母島、古屋野、弘瀬、長浜、久保浦(5)	152	92	61.8	H28.4.1	沖の島集落活動センター「妹背家」 (母島・沖の島開発総合センター 弘瀬・老人憩いの家)	沖の島集落活動センター「妹背家」
28	宿毛市	鶴来島	鶴来島(1)	38	29	63.2	H28.4.1	鶴来島集落活動センター「鶴来島」 (鶴来島離島センター)	鶴来島地域振興協議会
29	大月町	姫ノ井	姫ノ井、口目塚(2)	424	204	41.3	H28.4.1	姫ノ井集落活動センター「姫の里」 (姫ノ井ふるさとセンター)	姫ノ井集落活動センター「姫の里」推進協議会
30	黒潮町	蜷川	蜷川、仲分川、伴太郎、米原(4)	259	130	58.3	H28.4.1	集落活動センターであいの里蜷川 (旧蜷川小学校)	蜷川地区

集落活動センター開所地区の状況(令和2年4月1日現在)

NO.	市町村名	地区名	構成集落(集落数)	人口	世帯数	高齢化率	開所時期	名称(拠点施設)	実施主体
31	梶原町	西区	仲間、上西の川、下西の川、竹の藪、広野、宮野々、上成、松谷(8)	646	347	41.6	H29.3.19	集落活動センターゆすはら西(西区生涯学習館)	集落活動センターゆすはら西推進委員会
32	梶原町	東区	後別当、大蔵谷、東町、中町、北町、南町、西町、川西路、飯母、太郎川、神在居、仲間、豊原、川井、川口(15)	1,418	672	36.7	H29.3.19	集落活動センターゆすはら東(旧若草保育所)	集落活動センターゆすはら東推進委員会
33	室戸市	椎名	椎名、飛鳥、清水、鹿岡(4)	340	198	65.8	H29.3.25	椎名集落活動センターたのしいな(旧椎名小学校)	椎名集落活動センターたのしいな運営委員会
34	中土佐町	大野見南	野老野、竹原、禰ノ川、芹田、川奥(5)	151	97	41.7	H29.3.26	大野見集落活動センターみなみ(大野見集落活動センターみなみ)	みなみの明日を考える会
35	香美市	美良布	上町、住宅、泉町、本町、新田、本田(6)	1,180	528	40.8	H29.3.30	集落活動センター美良布(美良布地区集落活動センター)	美良布地区集落活動センター推進協議会
36	佐川町	黒岩	四ツ白、二ツ野、中野、瑞成、庄田、上黒原、薬師堂・源重、原、岬、寺野、場所ヶ内、台住、平野、大田川(14)	1,064	522	46.9	H29.3.31	集落活動センターくろいわ(集落活動センターくろいわ)	黒岩いきいき応援隊
37	佐川町	加茂	長竹、竹ノ倉、横山、本村西、本村東、弘岡(6)	1,029	465	39.4	H29.3.31	集落活動センター加茂の里(集落活動センター加茂の里)	加茂の里づくり会
38	黒潮町	蛸瀬川	馬荷、大方橋川、御坊畑(3)	325	161	48.9	H29.4.2	集落活動センターかきせ(旧馬荷小学校)	集落活動センターかきせ
39	佐川町	斗賀野	舟床、川ノ内、山瀬、西山組、岩井口、塚谷、下伏尾、上伏尾、二ノ部、二ノ部丁、駅前丁、芝ノ坊、角口、狩場、野添、薄木、入香山、大平、上美都岐、西下美都岐、東下美都岐、襟野々、川原田、兔田、砂止、埴生ノ川、楠谷、中谷、南谷、鉢ヶ森、磯田、古用地、花ノ木、梅の木、鉢ヶ森西、山崎、鳥の巣(37)	3,239	1,450	37.5	H29.6.29	とかの集落活動センターあおぞら(とかの集落活動センターあおぞら)	とかの集落活動センターあおぞら運営委員会
40	大豊町	岩原	岩原、筏木、西峯三谷(3)	171	91	58.5	H29.8.21	集落活動センター「絆の里・いわはら」(岩原老人憩いの家)	いわはら地区活性化推進委員会
41	土佐清水市	下川口	下川口郷、下川口浦、齒染ノ浦、貝ノ川郷、貝ノ川浦、大津、鳥淵、藤ノ川、坂井、有永、珠々玉、木ノ川、宗呂上、宗呂下、横峰、片松、山(17)	1,031	580	52.6	H29.8.26	集落活動センター下川口家(旧下川口保育園) ※正式名称において、「業」の字を使用	集落活動センター下川口家
42	大豊町	東豊永	大平、大滝、高原、中内、怒田、南大王、八畝(7)	210	127	66.2	H30.2.4	東豊永集落活動センター(東豊永集落活動センター)	東豊永集落活動センター推進協議会
43	越知町	横畠西部	袖野、袖ノ木、栗ノ木、薬師堂、清水、深瀬、福村(7)	197	101	54.8	H30.3.20	山笑ふ横畠集落活動センター(横畠西部公民館)	チーム横畠
44	本山町	上関・下関	上関・下関(2)	233	123	49.4	H30.3.21	集落活動センターなめかわ(上関集会所)	集落活動センターなめかわ運営協議会
45	須崎市	安和	南谷、田ノ浦、中の川内、本谷、沖、領久(6)	733	339	43.9	H30.4.1	集落活動センターあわ(JA土佐くろしお安和事業所(仮))	集落活動センターあわ
46	香美市	平山	平山、東川、曾我部川、大法寺北(4)	270	152	54.4	H30.4.1	集落活動センターひらやま(新改北部構造改善センター)	集落活動センターひらやま推進協議会
47	津野町	白石	大川、中野、中谷、駄場、桃ノ木、竹ノ谷、二ツ家、重谷、大西(9)	363	158	43.8	H30.5.20	集落活動センターしらいし(旧白石小学校)	白石地区活性化検討委員会
48	馬路村	魚梁瀬	魚梁瀬(1)	164	87	40.9	H31.1.9	集落活動センターやなせ(馬路村開発センター)	集落活動センターやなせ運営協議会
49	仁淀川町	下名野川	向井、土屋、斧ノ谷、松木、上屋敷、中、津江、長坂(8)	133	78	70.7	H31.3.8	集落活動センター山村自然楽校しもなの郷(山村自然楽校しもなの郷)	集落活動センター山村自然楽校しもなの郷運営協議会
50	津野町	船戸	下桑ヶ市、上桑ヶ市、西倉川、岩土、桂、船戸町、船戸奈路、中村、西の川(9)	444	204	45.5	H31.4.14	集落活動センターふなと(船戸地区集落活動拠点施設)	船戸活性化委員会「四万十川源流点」
51	須崎市	浦ノ内	切畑、馬路、谷、刈谷、山崎、菅、中ノ谷、北浦土取、大星、長万、清水、天神、大島、中平、戸波浦、横浪、鳴無、坂内、榴木、立目、出見、塩間、深浦、灰方、埋立、下中山、今川内、浦場、福良、池ノ浦、須ノ浦(32)	2,844	1,524	33.8	R1.5.21	集落活動センターうらのうち(浦ノ内公民館)	浦ノ内地区地域自主組織
52	大豊町	穴内	敷岩、穴内一、穴内二、穴内三、磯谷、尾生(7)	228	130	55.7	R1.5.25	集落活動センターあなない(穴内公民館)	穴内地区活性化推進委員会
53	室戸市	日南・大平	日南、大平(2)	80	44	63.7	R1.8.10	日南・大平集落活動センターひなたぼっこ(旧日南小学校)	日南・大平集落活動センターひなたぼっこ運営協議会
54	東洋町	甲浦	甲浦東、中町、西町、白浜、小池、原、河内、生見(8)	1,477	819	49.9	R1.8.30	甲浦集落活動センターなぎ(白浜地区集会所)	甲浦集落活動センターなぎ協議会

集落活動センター開所地区の状況(令和2年4月1日現在)

NO.	市町村名	地区名	構成集落(集落数)	人口	世帯数	高齢化率	開所時期	名称(拠点施設)	実施主体
55	中土佐町	大野見北	神母野、寺野、大股、萩中、下ル川(5)	304	162	61.2	R1.10.1	(仮)集落活動センターおおのみきた (旧大野見北小学校)	大野見北地区振興会
56	大豊町	立川	立川三谷、中央、刈屋、中和、仁尾ヶ内(5)	111	80	86.5	R1.10.7	集落活動センター そばの里 立川 (立川公民館)	立川地区活性化推進委員会
57	日高村	能津	鴨地、長畑、宮ノ谷、本村、大花、名越屋、柱谷(7)	428	242	58.7	R1.10.25	能津集落活動センターミライエ (能津ふるさとの家)	能津みらいづくり協議会
58	高知市	梅ノ木	小山・梅ノ木・葛山・増原(4)	78	39	51.3	R1.11.1	集落活動センター梅の木 (梅ノ木公民館)	集落活動センター梅の木運営協議会
59	田野町 安田町	大野	田野町大野、安田町大野(2)	202	87	45.0	R2.3.17	集落活動センター大野台地 (大野地区集会所)	集落活動センター大野台地運営協議会

集落活動センターの取り組み状況等について

安芸 地域本部

【集落活動センター】			
東洋町	甲浦	安田町	中山
室戸市	椎名、日南・大平	馬路村	魚梁瀬
奈半利町	【全域】	安芸市	東川
田野町・安田町	大野	芸西村	【全域】

1 現状

【2年未満：東洋町甲浦、田野町・安田町大野、室戸市日南・大平、馬路村魚梁瀬】

- ・ 立ち上がって2年未満の集落活動センターでは、拠点施設の整備や高知ふるさと応援隊の確保などの準備を行うとともに、これまでの活動を継続しつつ、既存事業の拡大や新規事業の検討を進めており、新たな取り組みを始めたセンターもある。

【2～5年未満：室戸市椎名、奈半利町、芸西村】

- ・ 立ち上がって2～5年未満のセンターでは事務局を高知ふるさと応援隊などが担い、集いの場づくり、子供の居場所づくり、近隣施設と連携した行事や、耕作放棄地での農産物の生産・販売など、地域のニーズに応じた活動を行っている。

【5年以上：安田町中山、安芸市東川】

- ・ 立ち上がって5年以上のセンターでは、高齢者のサロン・買い物支援、健康づくり体操、交流イベントなどの活動を継続するとともに、農産物の生産拡大・販路開拓を行ったり、新規事業を計画しているところもある。

2 課題

【2年未満：東洋町甲浦、田野町・安田町大野、室戸市日南・大平、馬路村魚梁瀬】

- ・ 集落活動センターの運営体制の強化、活動メンバーの確保、人材育成、関係機関との連携

【2～5年未満：室戸市椎名、奈半利町、芸西村】

- ・ 活動メンバーの固定化・高齢化、運営資金の確保、収支改善、人材育成

【5年以上：安田町中山、安芸市東川】

- ・ 人口減少、活動メンバーの固定化・高齢化、交流イベントの参加者の固定化、ノウハウの確立（栽培技術、流通・移送方法、6次産業化など）、新規事業の実施体制づくり

3 各部局等と連携すべき事項

【健康政策部】：(福祉保健所) 食品法規、営業許可、臨時販売等の確認

【産業振興推進部】：食品表示、県版HACCPの認証取得に関する支援

【商工労働部】：(工業技術センター) 加工品開発の際の賞味期限・消費期限延長の相談、菌検査等の実施

【観光振興部】：集落活動センターが取り組む観光関連事業への支援

【農業振興部】：6次産業化に関する支援

(農業振興センター) 農作物栽培の技術的支援

【林業振興・環境部】：(林業事務所・森林技術センター) シキミ、サカキ栽培の技術的支援

【観光協議会】：教育旅行を実施する学校の確保

【他市町村の集落活動センター】：先進地視察の受け入れ

集落活動センターの取り組み状況等について

物部川 地域本部

【集落活動センター】

香美市 美良布、平山
南国市 稲生
香南市 西川

1 現状

- ・ 集落活動センター開所後、一定年数を経た箇所は、活動に参加する地域住民の高齢化と固定化により、新たな取り組みの検討をすることもないが、既存の地域の特性を生かしたサロン活動や花祭りなどの取組を実施している。
- ・ 一方、開所して間もないセンターは若手が役員に就任しており、テーマに沿った部会を立ち上げ、健康づくりや鳥獣対策といった取り組みを順次行っていくこととしている。
- ・ センターの持続的な活動に必要な財源の確保については、市の施設の指定管理者による収入や市道の維持管理代行委託料収入、花祭りなどのイベントでの協力金収入などセンターの実情に応じた活動により得ている。
- ・ また、センターの活動を支援するため、市が集落支援員を雇用しており、集落内の意見集約や資料作成などを行っており、円滑なセンター運営に欠かせない役割を担っている。

2 課題

- ・ センターの活動に参加する住民の高齢化・固定化により役員交代ができない。また、既存の活動を続けることが精一杯である。
- ・ 若手住民が役員となっているセンターでは、地域のまとめ役的な存在がないため、世代間の意見集約に苦慮している。
- ・ 商品開発・販売に取り組んでいるセンターでは、地域外の販路拡大に向けた生産体制の確保ができないため、地域内での販売の維持にとどまっている。

3 各部局と連携すべき事項

【産業振興推進部、農業振興部】

- ・ 6次化産業、直販所の運営、食品表示法に関するセミナーの情報提供やアドバイザー導入支援

【集落活動センター】

高知市 北七ッ淵、梅ノ木

1 現状

【共通】

- ・ 高知市における集落活動センターは他地域と比べ規模が非常に小さい中で、それぞれが集落営農に取り組み、中でも、タケノコや四方竹、イタドリ、杉のコンテナ苗といった特用林産物の収益事業を中心とした活動が活発である。
- ・ モニターツアーや大学生の受け入れ等、地域内外の交流活動に意欲的である。
- ・ R2年度から、高知市が組織改正を行い「地域活性推進課」が創設され、集落活動センターに関する業務が明確に位置付けられたことで、新たな開設や既センターへの支援に連携を密に取り組む体制が強化された。
- ・ 一方、集落活動センターの人口等が小規模であることなどから、プレイヤーが非常に限られ、それぞれが担う役割が固定化されている。

【個別】

- ・ 開設から間もない集落活動センターにおいては、集落を維持する共同作業（沿道の草刈り、耕作放棄地の対策等）や、地域の高齢者の見守り活動、地域内外の交流活動等について、継続して意見交換を行っており、地域の実情に合った仕組みづくりや拠点施設、加工施設等の整備について、行政とともに検討している最中である。

2 課題

- ・ 現在の活動の中核である集落営農組織の維持・強化
- ・ 関係人口の拡大及び担い手の確保
- ・ 特用林産物の販路拡大とともに、6次産業化等による収益性の向上
- ・ （担い手が減少する中）集落維持や高齢者の見守り活動等に対する県及び市の連携強化による支援
- ・ 拠点施設等の整備に当たっては、将来に亘る維持管理の経費も含めた地域のコンセンサス

3 各部局と連携すべき事項

【農業振興部】

- ・ 集落営農法人に対する継続した支援
- ・ 6次産業化、加工品の試作等の取り組みの支援
- ・ 大学生等の受け入れによる交流事業の実施支援
- ・ タケノコ及び四方竹の加工に関する試験や課題整理の実施の支援

【林業振興・環境部】

- ・ 特用林産推進チームと連携したイタドリの生産拡大やコンテナ苗の販路拡大等の支援

【集落活動センター】			
本山町	汗見川、上関・下関	土佐町	石原
大豊町	岩原、東豊永、西峯、穴内、立川	大川村	【全域】

1 現状
<p>【活動概要】</p> <p><生活支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落活動支援 : 草刈り、清掃 ・ 地域イベント : ビアガーデン、女子会、運動会 ・ 健康づくり : 健康講座、体操、高齢者サロン ・ 防災活動 : 防災訓練、災害研修 ・ 生活基盤維持 : 店舗、給油所の運営、貨客混載事業 ・ 給食・配食 : 保育小中学校給食業務、高齢者配食業務 <p><経済活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光交流 : 宿泊施設の運営、そば打ち・ピザ焼き等体験、トレッキング、運動会等各種イベント、ラフティング客へのおもてなし、拠点施設での軽食提供 ・ 農産物 : 米、野菜、ゼンマイ・イタドリ、そば、しそ、つまもの葉っぱ ・ 特産品 : みそ ・ 植林用杉コンテナ苗、みつまた苗 <p>※ 大学生がゼミの一環として地域に入り、活性化に取り組んでいる地区あり。</p>
2 課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集落活動センターの活動により地域の活性化が図られる一方で、<u>担い手の高齢化や固定化、また、活動内容のマンネリ化が課題</u>となっている。 ・ <u>高齢化に伴い地域の耕作放棄地が増加</u>し、それにより<u>鳥獣被害も増えており、農産物の出荷量が減少</u>している。 ・ 事業規模を拡大することで、人材を雇用できる人件費を生み出すことも可能であるが、<u>その人材がない</u>。
3 各部局と連携すべき事項
<p>【観光振興部、産業振興推進部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嶺北地域（汗見川）と歴史的につながりのある大阪市西区との交流都市部からの観光・地産外商の促進に関する大阪事務所の支援 <p>【産業振興推進部、中山間振興・交通部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬膳茶の開発、販売への支援 <p>【農業振興部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直販所の整備への支援 <p>【林業振興・環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杉苗 嶺北林業振興事務所、森林技術センターによる育苗技術の助言指導

集落活動センターの取り組み状況等について

仁淀川 地域本部

【集落活動センター】			
いの町	柳野、越裏門・寺川	越知町	横島西部
日高村	能津	仁淀川町	長者、下名野川
佐川町	尾川、黒岩、加茂、斗賀野		

1 現状
<p>【活動全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集落活動センターの運営組織のメンバーの高齢化、固定化により、活動内容や規模が縮小しつつある状況のため、その現状や運営組織の意向、地域の特性に応じて、無理せず継続できると、小さくてもプラスを生み出せることを基本とした活動を展開している。 「住民が住み慣れた地域で暮らし続けることができる」ために、攻める（経済活動）ことだけでなく守る（暮らしを支える活動）ことを重視して、その自主財源確保に努めている。 佐川町の4つの集落活動センターにはあったかふれあいセンターが併設されており、特に斗賀野地区では、それぞれのセンターの特徴や強みを活かした活動が展開できている。 小学校や保育園の存続のための移住定住促進を目的に、若い世代が中心となって来年度から活動を始めようとしているセンターがある。 <p>【経済活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済活動としては、原木まいたけのきのこ栽培などがなされており、さらに今年度からは、クラフトビールの製造販売を起爆剤にした地域活性化に取り組もうとしている。 <p>【運営体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集落活動センターの安定的な運営に不可欠な人的、財政的支援策として、事務局を担う集落支援員の配置や施設の指定管理など、市町村の支援が充実している集落活動センターが多い。
2 課題
<p>【活動全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> センターの運営に自分事として関わってくれる住民が少ない、若い住民が参画しない、外部の人材活用が不十分などの理由で人材が不足している。 <p>【経済活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 営業や出荷管理などを担う経済活動の核となる人材が少ないため、支援策の活用以前に人的体制を整備する必要があるが、集落支援員の配置で成り立っているのが現状、 現在行われている活動の収益性向上や、これから開始する活動が堅調に展開できるようにさらに支援を強化する必要がある。 <p>【運営体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集落支援員への負担が集中し、孤軍奮闘する状況が生じている。
3 各部局と連携すべき事項
<p>【地域福祉部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐川町でのあったかふれあいセンターとの連携強化、他の地区でのあったかサテライトの導入 <p>【観光振興部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験観光事業のハード整備支援 <p>【農業振興部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集落営農や直払い制度の活用、有望な栽培品目の提案や栽培等の技術指導、販路確保の支援 <p>【林業振興・環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有望な栽培品目の提案や栽培等の技術指導、植栽へのアドバイスと技術支援

集落活動センターの取り組み状況等について

高幡 地域本部

【集落活動センター】

須崎市 安和、浦ノ内 四万十町 中津川、仁井田
 中土佐町 大野見南、大野見北
 梶原町 松原、初瀬、四万川、越知面、西区、東区
 津野町 郷、白石、船戸

1 現状

- ・ 高幡管内には、5市町に15の集落活動センターがあり、地域での見守りや交流活動を中心に安心して暮らすことのできる「守り」の集落づくりから経済活動につなげ雇用の創出や移住・定住の促進を目指す「攻め」の集落づくりまで幅広い活動が展開され、市町の支援にも濃淡がある。
- ・ 大きな収益を得ることはできなくても現在の活動を継続することにより、地域の賑わいや集落機能の維持を目指しているところも多い。
- ・ 見守りや地域内交流を中心とした活動から、経済活動に向けた法人化の動きもある。
- ・ 生活支援活動としては、ガソリンスタンドや商店の運営、弁当・惣菜の販売、配食サービス、無償輸送サービス、見守り活動、集いの場づくり、地域内に向けた飲食店、買い物支援、健康作り活動等が行われている。
- ・ 経済活動としては、集落営農、特産品販売（農産物、加工品、どぶろく、キムチ）、体験メニュー、セラピーロードツアー、直販所、飲食店、宿泊施設、ジビエ肉の加工、特産林産（イタドリ、シキミ）の栽培、各種イベントの開催等が行われている。
- ・ 空き家対策や体験活動等の取り組みにより移住・定住者の増加につながったところもある。
- ・ 梶原町では、町内6区のそれぞれの地域で、住民が危機感を抱く課題を共有し「できることから進める」を合い言葉に活動が始まり、全ての地区で集落活動センターが立ち上がっている。6つのセンターで地域の課題に応じた多様な取り組みが行われ、相互に連携し町全体で支え合う仕組みづくりも進み、協働によるさらなる取り組みへと発展している。

2 課題

- ・ 地域住民の参画が増えつつあるセンターもあるが、次世代の参画者の確保が大きな課題となっている。
- ・ 活動の担い手が固定化してきているため、地域への活動の浸透と住民自らの参加意識の向上を図る必要がある。
- ・ 集落支援員の配置の継続（補助対象期間3年間での自立は困難）
- ・ 運営方針や活動内容等に対する考え方に隔たりのある世代間や部会間の融和
- ・ 経済活動の拡大に向けた法人化の支援と経営感覚の醸成

3 各部局と連携すべき事項

【農業振興部】

- ・ 6次産業化、直販所の運営、食品表示に関する支援

【農業振興部、林業振興・環境部】

- ・ 有望な栽培品目の提案及び技術指導

【集落活動センター】			
四万十市	大宮	大月町	姫ノ井
土佐清水市	下川口	三原村	【全域】
宿毛市	沖の島、鵜来島	黒潮町	北郷、佐賀北部、蜷川、蛸瀬川

1 現状
<p>【各集落活動センターの活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三原村「やまびこ」では、4名の集落支援員が事務局に配置され、村の施設管理や特産品販売、観光事業を行うなど、地域APの事業者としても活動している。 ・ 黒潮町の4センターは、町が推進するスポーツツーリズムの役割を担う一員として、宿泊事業や弁当の製造を行っている。また、町内事業者に原材料となるハーブを出荷するなど、地域AP事業者と連携した経済活動を行っている。 ・ その他のセンターにおいても、地域の課題やニーズに応じて様々な活動を行っており、継続的な活動として地域に定着するとともに、ステップアップが図られている。 ・ 一方、担い手の不足から、役員や一部のメンバーに負担が集中し、センターの多くが無償ボランティアで労務を提供している状況にある。 <p>【幡多地区集落活動センター連絡協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H30年11月、竹葉会長（大宮集落活動センターみやの里）の呼びかけにより、同協議会を設立。幡多管内におけるセンター間の相互交流を推進し、センターの活動のさらなる充実と地域への広がりを目的として活動している。
2 課題
<p>【運営体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ センターの活動が役員や一部のメンバーに限られる中、<u>会長をサポートし、会員の意見を調整して組織をまとめ経理的な業務を担える人材を見いだせない状況にある。</u>市町村は、ふるさと応援隊の配置を県が支援する3年間を基本に考えており、<u>運営費に対する支援も否定的</u>である。 <p>【経済活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域には経済活動に対する抵抗感があり、センターにアドバイザーを導入しても、そのノウハウを受け取り実践活動に繋げる<u>経営感覚を有する人材が不足</u>しており、<u>売上額が利益の向上に繋がっていない。</u> <p>【地域情報の発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内に担い手が不足する中、地域の動きや元気な姿を地域外に発信し、出身者との結びつきを強め、<u>関係人口を増やす手段としてSNSの活用を図りたいが、センターの活動に関わる高齢者の多くが敬遠するため有効的な活用が地域に広がらない。</u>
3 各部局等と連携すべき事項
<p>【地域福祉部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あったかふれあいセンターとの事業連携 「生活を守る」活動においては、あったかふれあいセンターとの役割分担のうえ事業連携し、地域福祉の向上にも取り組む。 <p>【観光振興部、農業振興部、林業振興・環境部、水産振興部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6次産業化への取り組み 地域の景観を維持し、センターの経済活動の核となる事業として、地域の一次産品と歴史、文化、景観等を活用した6次産業化に取り組む。